



バッハの森通信

第 148 号
2020 年
7 月 20 日発行

一般財団法人バッハの森

〒300-2635 茨城県つくば市東光台2-7-9 <http://www.bach.or.jp>

☎ 029-847-8696 / Fax 029-847-8699 e-mail: info@bach.or.jp

郵便振替 00380-4-16119 一般財団法人バッハの森

命の輝きを歌おう

生きる喜びとともに

前号の巻頭言で、「人の生きるはパンのみによるにあらず」というイエスの言葉を紹介しましたが、この言葉の真意を伝える後半を省略してしまったので修正します。まず、イエスがこの言葉を語ったときの状況を伝えておかなければなりません。

イエスは、伝道活動を始める前に、荒野で 40 日間断食をしました。空腹を覚えたとき、彼の前に現れた悪魔が、「お前が神の子なら、これらの石にパンになるよう命じてみろ」と言いました。するとイエスは「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出るすべての言葉によって生きる、と聖書に書いてある」と答えました。イエスが引用した聖書の言葉は、奴隷だったイスラエルの先祖をエジプトから連れ出したモーセが、40 年間荒野をさまよい、食べ物が無くなったとき、奴隷でも食べ物が沢山あったエジプトにいた方がよかった、と不平を言う民衆をさとした言葉です。

* * *

生きるためには先ずパン、すなわち食料が必要だという常識に、飢えの極限状態であったにもかかわらず、モーセとイエスは異議を唱え、人間が生きるためには、食料の他に「神の口から出るすべての言葉」が必要だと言ったのです。モーセは、それは、エジプトの奴隷から解放した民衆に、神がその恩恵を思い出させるために飢えの苦しみを与え、その後で天から食料の「マナ」を降らせたことだと教えました。

イエスは、おなかが空いたからパンを食べる、という本能まかせの行動だけでは、人間として生きていることにならない。それでは本能の奴隷だ。神から与えられた命を保つために食べる、という自覚が人間を生かすと語りたかったのでしょう。実際、人間は生きようとする意志があるから生きるし、食べるのであって、

他の動物と違い、本能に逆らってまで自死するという不幸な行動をとることもあるのです。

* * *

今、突然現われた未知のウイルスの感染を恐れ、世界中の人々が命の危険に怯えています。と同時に、命を心配するよりパンの獲得を優先しろ、という主張も聞こえてきます。命とは何か、生きるとは何かを、考えなければならないときです。

私たちは、バッハの森で、夢を追い求め、命の輝きを目指して生きる喜びとともに歌っています。楽しいですよ。一緒に歌いませんか。お待ちしております。

「来たれ、わが友よ」 旋律：L.ブルジョワ 1551 年

1 き た れ、 わ が と も よ、
 う た い、 た の し め、
 よ ろ こ び の う た を、
 こ え を あ わ せ て。
 こ こ ろ と お も い
 あ つ く も や し て
 い の ち の か が や き
 た か ら か に う た - え。

1. 来たれ、わが友よ、
歌い、楽しめ、
喜びの歌を
声を合わせて。
心と思ひ
熱く燃やして、
命の輝き
高らかに歌え。
2. さらば、寄り集(ツ)い
歌う我らの
歌声、響けば
喜び満ちる。
夢と命を
歌い求める、
群(ム)れなる我らに
豊かに幸(チ)あれ。

(石田友雄)

2019 年度・統 計

会員数 (2020.3.31)		入退会者数		
		入会	退会	増減
維持会員	86 人	維持会員 10	6	+4
賛助会員	32 人	賛助会員 0	5	-5
学生会員	8 人	学生会員 1	6	-5
計	126 人	計 11	17	-6

集会回数

参加者延べ人数 (2019. 4. 1～2020. 3. 31)

学習コース	回数	延べ人数
クワイア (混声合唱)	35	452
器楽アンサンブル	10	38
声楽アンサンブル	11	66
ハンドベル・クワイア	11	67
ハンドベル・リンガーズ	14	144
オルガン音楽研究会	14	118
コーラル研究会	16	103
クラヴィコード・オルガン教室	8	27
チェンバロ教室	5	10
声楽教室	3	6
オルガン・クラブ	15	46
読書会 聖書	29	118
家族向けコンサート総練習	2	26
オルガン・クラヴィコード・チェンバロ練習	191	301
クリスマス祝会	1	33
小計	365	1555

公開プログラム

コーラルとカンタータ	29	265
コンサート	4	169
コンサート (家族向け)	2	161
クラヴィコード・ワークショップ	1	38
楽しく歌おう	1	11
小計	37	644

運営活動

運営委員会	22	106
有志懇談会	1	16
理事会	1	5
評議員会	1	7
クリスマス飾り付けと片付け	4	16
楽譜整理	4	12
草取り、外周剪定、台風片付け	3	12
反省会、連絡会	2	20
小計	38	194

その他

オルガン見学会 オフィスカノン	1	5
オルガンセミナー BEATA	1	12
つくば市民文化音楽会	1	18
来訪	2	14
小計	5	49

総計

445 回 2442 人

バッハの森の

「公益目的支出計画実施報告」の報告

7年前、2013年4月から、バッハの森の正式名称が変わったことをご存知でしょうか。現在、バッハの森の正式名称は「一般財団法人バッハの森」です。それまでは「財団法人筑波バッハの森文化財団」でした。移行認可という手続きを行い、2013年4月1日付けで新名称に生まれ変わったのです。では、名称の変更で何が変わったのか、というと、実のところあまり変わっていません。「オルガン音楽研究会」「バッハの森クワイア」など、学習コースのプログラムが、何も変わらず続いてきたことをご存知の通りです。

しかし、事務方にとっては大変な事件でした。いやまだこの事件が続いていることも、多くの会員の皆さんはご存知ないらしいので、敢えて報告させていただきます。

大変な事件だったというのは、諸々の難解な手続きが必要うえに、2013年12月までに手続きを完了しないとバッハの森は解散されるというデッドライン付きだったからです。そのため、日本語にもかかわらず意味がよく分からない解説を読み解き、バッハの森の定款や会員規定を新しく定め、会計書類の課目検討や評議員、理事、監事の新たな選任という儀式(?)を行い、無事、期日までに登記を完了してバッハの森を存続させることができました。会計問題に関しては、特に戸部慶子さんと TOMA コンサルタントの担当者の方が処理してくださいました。

しかし、登記が終わって「めでたし、めでたし」というわけにはいきませんでした。移行認可後、一定期間、年度末日から3ヶ月以内に毎年、「公益目的支出計画実施報告」なる報告を茨城県知事宛に提出しなければなりません。そして、その後、審査を経て正式に法人の移行手続き完了となることになっているのです。そこで、報告書類の作成に必要な決算書類の数字が整う毎年6月に、戸部慶子さんと別所直樹が毎年恒例の書類を作成してきました。最近はこれらの書類作成に大分慣れてきましたが、この作業の完了には、もう4、5年はかかるようです。

(別所直樹)

会計報告 (2019. 4. 1~2020. 3. 31)

経常収支

単位：千円

収入の部

基本財産受取利息	1
特定財産受取利息	0
年会費（維持・賛助会費）	768
事業収益	
1) 研究会（学習コース）	1,778
2) 公開講座	114
3) コンサート	421
4) ワークショップ	28
5) 音楽教室	158
6) 楽器使用料	356
7) 賃料収益（家賃収入）	1,312
一般寄付金	469
雑収益（管理棟家賃、コピー代ほか）	776
計	6,181

支出の部

給与手当	728
支払報酬（会計事務所）	165
旅費交通費	291
通信運搬費（郵送料、電話、ネット関係）	214
什器備品費（楽譜・書籍、エアコン）	503
消耗品費（コピー用紙、文具他）	66
修繕費（楽器メンテ、植栽、修繕）	671
印刷製本費（バッハの森通信、封筒印刷）	51
光熱水料費	678
賃借費（地代、機器リース料）	1,262
火災保険料	123
諸謝金	810
租税公課（固定資産税、法人事業税）	389
負担金（振込手数料）	6
雑費（コピー使用料ほか）	52
特別会計補助（建物維持）	-208
計	5,801
当期経常増減額	380

指定寄付収支

単位：千円

土地地上権積立

(収入)		(支出)	
前期繰越	987		
寄付	0		
利息	0	繰越	987
計	987		987

*今後の支出計画	2024年	地上権（奏楽堂敷地）	800
	2024年	地上権（貸家敷地）	640
	2026年	地上権（聖書の国）	1,000

建物維持・修理

(収入)		(支出)	
前期繰越	273	デッキ塗装	1,000
寄付	472	会議室修繕	592
利息	0	奏楽堂屋根	399
借入金	1,500	一般会計補助	208
前期寄付分	34	繰越	80
計	2,279		2,279

*今後の支出計画	2021年	聖書の国資料館塗装	2,000
	2022年	奏楽堂塗装	2,000
	2023年	コミュニティセンター塗装	2,000

オルガン修復

(収入)		(支出)	
前期繰越	205	クラヴィコード修繕	74
寄付	157	オルガン全集	38
利息	0	繰越	250
計	362		362

*今後の支出計画	2021年	オルガン調整	500
----------	-------	--------	-----

借入金（2020. 3. 31 現在）

単位：千円

長期借入金	34,000
短期借入金（建物維持）	3,540
短期借入金（新法人移行他）	7,200
計	44,740

バッハの森の運営に関する有志懇談会と指定寄附会計に関する報告

さる6月27日にバッハの森の運営に関する有志懇談会が開かれ、事業報告と決算報告が行われました。会計報告では、例年通り、経常収支ではほぼバランスが取れているものの、修繕費などにかかる費用が寄付と自己資金だけではまかなえず、石田友雄氏からの借入が、総額4,474万円になったことが報告されました。2024年には、奏楽堂・コミュニティセンターと貸家のある土地を、2026年には聖書の国資料館のある土地を、今の契約（期間20年）のまま契約更新をすると、144万円と100万円が必要になります。

管理棟のみバッハの森の所有地です。バッハの森は、建物維持のための塗装・修繕にかなりの経費がかかるため、土地に関する積立はここ何年も出来ていません。建物修繕費も、ここ数年は年間100万円程度の経費がかかり、今後ますます増えると予想されます。

こうした状況を踏まえ、まずは現状をご理解いただき、理事会や評議員会、運営委員会などで、具体的な対策を検討していきたいと考えています。秋のシーズンには、新しいプロジェクトも計画しています。より多くの方に、より多くのプログラムに参加していただくことによって、バッハの森の活性化と、事業収入の増加を図っていききたいと思っています。

（バッハの森会計担当 戸部慶子）

日 誌 (2020. 4. 1～6. 30)

4. 1～5. 31 **休館** 新型コロナウイルス感染防止のため。
4. 1, 5, 6, 9 **配水管修理** 3. 26 に破損した配水管修理と給湯器交換。
4. 12～5. 31 **配信(メーリングリスト)** Magnificat 1～12、Magnificat deutsch 1～9、降誕物語 1～8。
4. 25 **芝刈り、草取り** 参加者 2 名。
5. 8, 15, 17, 22, 30 **草取り、生け垣剪定** 参加者 2 名、1 名、2 名、2 名、1 名。
5. 30 **運営委員会** 参加者 6 名。
発送 「夏シーズン」再開の知らせ 参加者 6 名。
6. 13, 27 **運営委員会** 参加者 4, 7 名。
6. 27 **DVD 鑑賞会** 参加者 15 名。
有志懇談会 参加者 15 名。
一般財団法人・評議員会 参加者 7 名。
一般財団法人・理事会 参加者 5 名。

学習コース

- バッハの森・クワイア (混声合唱)** 6. 6/13 名、6. 13/11 名、6. 20/15 名、6. 27/14 名。
- オルガン音楽研究会** 6. 5/8 名、6. 19/9 名。
- コラール研究会** 6. 12/4 名。
- クラヴィコード・オルガン教室** 6. 19/2 名。
- オルガン・クラブ** 6. 26/3 名。
- ハンドベル・リンガーズ** 6. 14/9 名。
- オルガン、クラヴィコード、チェンバロ練習**
4. 7/1 名、4. 9/1 名、4. 16/1 名、4. 23/1 名、
4. 30/1 名、5. 8/1 名、5. 14/1 名、5. 15/1 名、
5. 16/3 名、5. 21/1 名、5. 22/1 名、5. 29/2 名、
5. 30/1 名、6. 3/1 名、6. 4/1 名、6. 5/2 名、
6. 6/2 名、6. 9/1 名、6. 12/2 名、6. 13/2 名、
6. 17/1 名、6. 18/1 名、6. 19/2 名、6. 24/1 名、
6. 25/2 名、6. 26/3 名。

J. S. バッハの音楽鑑賞シリーズ

コラールを歌おう

カンタータ入門 (コラールとカンタータ)

6. 6 コラール「キリストは死の縄目につき」、オルガン : 安西文子。参加者 15 名。
6. 13 464 回、復活祭第 1 主日のカンタータ「キリストは死の縄目につき」(BWV 4) ; オルガン : J. S. バッハ「キリストは死の縄目につき」(BWV 625)、安西文子。参加者 10 名。
6. 20 465 回、ミゼリコルディアス・ドミニのカンタータ「主は私の誠実な羊飼」(BWV 112) ; オルガン : J. S. バッハ「いと高くいます神にのみ栄光あれ」(BWV 715)、笠間きよ子。参加者 12 名。